



学思

「学びて思わざれば則ち罔く、思いて学ばざれば則ち殆し。」——『論語・為政篇』

Newsletter No.70

2022年1月～3月

JSPS Beijing



目次

- 活動報告.....2
 - ・2022年度外国人研究者再招へい事業（BRIDGE Fellowship Program）審査会を開催
 - ・JSPS 国際統括本部会議・海外研究連絡センター長会議
 - ・九州智連産学連携連盟交流会・第5回在中国九州大学同窓会総会に参加
 - ・日本学生支援機構（JASSO）主催日本留学オンラインミニフェア（中国）に参加
- 活動記録（2022年1月～3月）.....3
- 編集後記.....4

編集・発行

日本学術振興会北京研究連絡センター

2022年度外国人研究者再招へい事業 (BRIDGE Fellowship Program) 審査会を開催

2022年1月20日(木)に当センター内において2022年度外国人研究者再招へい事業(BRIDGE Fellowship Program)の審査会を開催しました。

本事業は、JSPSの外国人研究者招へい事業等に採用されて来日した経験のある外国人研究者に対し、再度来日して日本人研究者との研究協力関係を形

成、維持、強化する機会を提供します。

2022年度の募集には9件の申請があり、6名の審査委員による書面審査、合議審査を経て、中国同窓会に割り当てられた5名の候補者を決定しました。審査会では、申請者の活動計画等に基づき、同窓会の発展に寄与するかどうか等の観点から審査委員の間で議

論が交わされました。

本事業は、昨年度はコロナ禍のため中止、一昨年度の採用者も日本での入国制限のため、審査会時点では渡日できていない状況でしたが、その後の入国制限の緩和により、渡日が可能になりました。本事業の採用者の日本滞在が実り多いものとなるよう望みます。

JSPS 国際統括本部会議・海外研究連絡センター長会議

2022年2月14日(月)にJSPS本部において年1回の国際統括本部会議・海外研究連絡センター長会議がオンラインで開催されました。本センターからは成瀬副センター長が出席して、センターの近況と中国の学術施策等の状況について報告しました。

科学技術政策の動向では、宇宙開発

と量子コンピューターの分野で進展が見られたこと、高等教育分野では、大学生の就職難や高考総合改革の状況などが報告されました。また、2021年に成立した、いわゆる情報関連三法についても触れ、「個人情報保護法」の施行により、今後は日本から中国国内の個人情報を取得する場合も法に定め

る対応が必要になる旨、注意喚起がありました。

本部からは、日本の水際対策の経緯と外国人研究者招へい事業における来日に向けた取組等について説明がありました。

九州智連産学連携連盟交流会・第5回 在中国九州大学同窓会総会に参加

2022年1月15日(土)にオンラインで開催された「九州智連産学連携連盟交流会・第5回在中国九州大学同窓会総会」に参加しました。

在中国九州大学同窓会は2004年に設立され、OB情報の収集やOB間の交流の促進という同窓会活動をOB自

らが主体的に行っているそうです。九州大学の中国人卒業生は現在約1万人、連絡が取れる卒業生は2,000~3,000人とこのことで、日本の大学の中国同窓会としては最も規模が大きいものの一つと思われます。

2021年には、同窓会を母体に九州智連産学連携連盟交流会を立ち上げ、産業界で活躍するOBを中心に、産学連携プラットフォームの構築と運営、OBの起業や事業運営のサポート等を強化する方針とのことです。

総会には当センターから成瀬副セン



ター長が出席し、挨拶とJSPSの中国における活動について紹介しました。当センターでもJSPS中国同窓会の運営に関しては、九州大学同窓会と共通する目的や課題があり、今後とも情報共有しながら協力していきたい旨述べました。



日本学生支援機構 (JASSO) 主催 日本留学オンラインミニフェア (中国) に参加

2022年3月19日(土)、20日(日)の2日間、日本学生支援機構 (JASSO) 主催の日本留学オンラインミニフェアが開催されました。

本イベントは、2021年8月に開催された日本留学オンラインフェアにおいて中国国内のオンライン環境により視聴できなかった中国人学生のために JASSO が追加で企画したものです。JSPS として後援したほか、当センター

は希平会 (日中高等教育交流連絡会) の事務局として協力・参加しました。

イベントには、在中国日本国大使館等の政府系機関のほか、希平会加盟の日本の15大学が参加し、ライブセッションで日本への留学情報を提供するとともに、参加者からのコメントに回答しました。イベントは、動画共有サイト「bilibili」でライブ配信されるとともに、フェア専用 WeChat グループ上の「参加機関専用ページ」からも情報提供されました。参加者数は延べ約3,000人、「bilibili」上でのコメント総数は約1,500件にのぼり、予想された以上の反響があったようです。

当センターでは今後も、対面式イベ



ントではアウトリーチ困難な地方在住者が参加可能なオンラインの留学フェアに積極的に協力していきたいと考えています。



センターの活動記録

(2022年1月~3月)

1月

- 15日 九州智連产学連携連盟交流会・第5回在中国九州大学同窓会総会 (オンライン)
- 20日 2022年度外国人研究者再招へい事業 (BRIDGE Fellowship Program) 審査会 (センター)
- 24日 広報文化十一者会出席

2月

- 11日 新年賀詞交歓会 (大使公邸)
- 14日 JSPS 国際統括本部会議・海外研究連絡センター長会議 (オンライン)
- 21日 広報文化十一者会出席

3月

- 19日-20日 JASSO 主催日本留学ミニフェア (中国向け) (オンライン)
- 30日 天皇誕生日祝賀レセプション (大使公邸)

編集後記

2月4日から2月20日にかけて開催された北京冬季オリンピックが無事終了しました。全てがバブルの中で行われたため、北京に居る者にとっても別の国の出来事のようにでしたが、報道等を見る限り、国内外ともそれなりの盛り上がりを見せたようです。

今回のオリンピックは科学技術が支えた面があると言われており、話題となった開会式の演出だけではなく、会場や練習施設から観戦体験技術に至るまで、中国の最新の科学技術が活用された点で注目すべき大会でした。(この方面での清華大学・北京大学をはじめとする中国の各大学の貢献については『JSPS 海外学術動向ポータルサイト (<https://www-overseas-news.jsps.go.jp/>)』でも取り上げたところです。)

オリンピックと3月の全国人民代表大会終了後には、コロナ対策に一定の緩和があるものと期待されていましたが、ここに来て逆に感染が拡大し、各地でコロナ発生初期以来のロックダウン(都市封鎖)が行われています(今号の編集時点の4月には、ついに上海市でロックダウンが始まりました)。本センターでも3月中の開催を目指して時機を窺っていた同窓会の地方支部会セミナー2件の中止を決定しました。

新しい年度の始まりに向けて懸念材料は尽きませんが、個人的には北京での1年と初めての春節を経験し、中国の生活に大分慣れてきたところです。残りの任期を無事に全うしたいと思います。

副センター長 成瀬雅也



日本学術振興会 北京研究連絡センター

JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE BEIJING REPRESENTATIVE OFFICE

北京市海淀区西三環北路 89 号 中国外文大厦 A 座 404 室

郵便番号: 100089

Tel: +86-10-8882-4331

Fax: +86-10-8882-4332

E-mail: beijing@jsps.org.cn

URL: www.jsps.org.cn

副センター長 成瀬雅也

現地職員 江岸、余彬



WeChat

